

## 平成27年度施策評価調書

整理番号	22
評価担当課	営業戦略課
職・氏名	

### 1 施策の名称等

施策名(基本事業)	商業の活性化		
総合計画の位置づけ	基本目標	4	想像力と活力にあふれたまちづくり
	主要施策	3	商業の振興

### 2 施策の現状分析と意図

施策の対象、意図(誰、何をどのようにしたいのか)	中心市街地商店街、各地域商店街の組織の充実及び商店街の整備を進め、地域に根ざした魅力ある商店街づくりを目指します。
施策の現状(現状どのような手段を講じているか)	中心市街地の近代化や店舗改修による個性ある街づくり及び創業支援等魅力ある商店街づくりを進めるため、中小企業振興条例の見直しを行います。
施策の課題	事業主の高齢化、後継者不在などにより、中心市街地の空き店舗数が年々増加しており、国や道などの事業承継や創業・第二創業の支援制度周知・活用、市独自の制度創設など、商工業支援機関との連携による支援体制制度を検討していかなければならない。

### 3 成果指標の達成状況

成果指標	指標の説明	区分	H24	H25	H26	目標年度(27年度)
商店街活性化事業 (中心市街地近代化事業 件数)	名寄市都市計画用途地域の商業地域内で行われる近代化事業件数(店舗・事務所の新增改築)	目標値	2	2	2	2
		実績値	1	2	2	
		進捗率	50%	100%	100%	
商店街活性化事業 (空き地空き店舗活用事業 件数)	名寄市都市計画用途地域の商業地域内の空き地空き店舗を活用する事業件数	目標値	2	2	2	2
		実績値	4	0	2	
		進捗率	200%	0%	100%	
商店街活性化事業 (店舗支援事業件数)	店舗または事務所の新築及び増改築事業件数	目標値	3	3	3	3
		実績値	4	1	4	
		進捗率	133%	33%	133%	
商店街活性化事業 (コミュニティ事業件数)	商店街活性化を推進するために地域住民とのふれあいを深めるためのコミュニティ事業を行った件数	目標値	3	3	3	3
		実績値	3	3	5	
		進捗率	100%	100%	167%	
		目標値				
		実績値				
		進捗率				

### 4 施策の達成状況

施策の達成度	理由・問題点等	評価基準
B	活用件数では概ね目標を達成しているため、概ね順調と判断したが、国や道などの関係機関の補助制度や各種セミナーなどの情報を市ホームページや支援機関を通じて広く周知し制度活用に推進していかなければならない。	A: 計画目標に向けて順調に推移 B: 計画目標に向かって概ね順調 C: 計画目標に向けて進捗はやや遅れている D: 計画目標に向け進捗は遅れている

5 今後の方向性

商工業支援機関との連携による支援体制制度の検討が必要。

6 ワーキンググループの意見等

1次評価のとおり

7 外部評価の意見等

1次評価のとおり

8 2次評価の意見等

1次評価のとおり

9 施策を構成する事務事業

(1)H26年度実施事業

事業番号	事務事業名	事業の概要	H26決算額	1次評価						外部評価	2次評価
				妥当性	有効性	効率性	公平性	達成度	評価		
1	中心市街地近代化事業	名寄市都市計画用途地域の商業地域内で行われる近代化事業(店舗・事務所の新增改築)	10,186	b	b	b	b	b	B		
2	商店街等活性化事業	中小企業等が行う製品開発、販路拡大、店舗の新・増改築、賑わいの創出等に対して支援を行い、商店街等の活性化を図る事業	6,305	b	b	a	a	b	B		

(2)その他の取組(既に終了した事業や予算を伴わない取組等(1)以外の取組を記入してください。)

平成27年度事務事業評価調書

整理番号	22	枝番	1
評価担当課・係・職名・氏名	営業戦略課		

1 施策体系と事務事業

事務事業名	中心市街地近代化事業			
総合計画の位置づけ	有 無	基本目標	4	想像力と活力にあふれたまちづくり
		主要施策	3	商業の振興
		基本事業	1	商業の活性化
		実施計画事業	2	個性ある商店街づくり

2 事務事業の概要等

目的(何のために)	街区の整備と合わせ、中心市街地近代化事業は中心市街地活性化の一翼を担うもので、市内建設業者の施工を条件に制度が整っている。魅力ある商業への整備支援が建設業の活力にもつながるものと考えている。			
対象(何を又は誰を)	商業者			
手段＝活動(仕事)(どのような方法で)	中小企業振興条例に基づく各種補助制度を実施			
意図(どのような成果を期待しているか)	消費者ニーズに対応した情報・利便・快適性を備えた個性ある魅力的な街区形成、市内建設関連業の活力にもつながるものとする。			
事業実施主体	名寄市			
事業実施方法	直 営      一部委託      全部委託      補助等      請負      その他(      )			
事業実施期間	始期	19 年度	終期設定	有 (終期      年度)      ・(無)
根拠法令・条例等	名寄市中小企業振興条例			

3 事務事業の現状

(1) 達成状況等の推移

	指標名及び内容	単位		H24	H25	H26	H27見込	目標年度 (      年度)
				目標	実績	目標	実績	目標
活動指標	1 中心市街地近代化支援事業件数 実際に支援した件数	件	目標	2	2	2	2	
			実績	1	2	2	2	
	2	件	目標					
			実績					
成果指標	1 事業実施件数(中心市街地近代化事業) 新たに取り組んだ事業の件数	件	目標	2	2	2	2	
			実績	1	2	2	2	
	2	件	目標					
			実績					

(2) 事業費の推移

(千円)

区分	H24決算	H25決算	H26決算	H27予算	平成26年度の事業費内訳	
事業費	1,422	5,530	10,186	補正対応	中心市街地近代化補助 2件      10,186	
国道支出金						
地方債						
その他						
一般財源	1,422	5,530	10,186	補正対応		
人件費	1,002	994	994	994		
平均給与額	6,683	6,629	6,629	6,629		
担当職員数	0.15	0.15	0.15	0.15		
総事業費	2,424	6,524	11,180	994		
対前年比(%)	—	269	171	9	コストの算出方法	
事業コスト	活動指標1	1,422	2,765	5,093	補正対応	各事業費/支援件数
	活動指標2					
	活動指標3					

※H26及びH27年度平均給与額は仮の数値です

(3) 事業スタート後の情勢変化やこれまでに取り組んだ改善点

情勢の変化	順調に推移しているが、もっと商業者のニーズに合わせたものにする必要がある。
改善点	指摘事項 有 (      ) 無 長きにわたり本市の商業活性化に寄与してきた商業者の店舗が、経年劣化により建て替えや改修の時期にきており、事業の継続・発展を支援するため、名寄市中小企業振興条例の見直しを図り、時代のニーズにあった補助制度の創設や制度の拡充などを検討します。

4 事務事業の点検

以下の視点から点検し、(a:高い、b:やや高い、c:やや低い、d:低い)から選択し、その理由等を記入すること。

項目	評価	判定した理由・説明等
妥当性 市が主体的に実施すべきか、社会・市民ニーズに適合しているか？	b	経年劣化によって建て替えや改修の時期にきていても、商業地域内で投資額も500万円以上でなければならず、500万円に満たない工事では適応にならないなど利用できる商店が少ない。
有効性 目的を達成するための方法として有効か？	b	区域・投資額の緩和が必要と思われる。
効率性 経費に見合った成果が発揮されているか、コスト削減の余地はないか？	b	一定の成果は得られていると思われるが、投資額を下げることでコスト削減は可能。
公平性 受益者負担は適正か、受益者に偏りがはないか？	b	名寄市都市計画用途区域の商業区域内となっているため利用できる範囲が狭い。
達成度 活動指標、成果指標の達成度は？	b	今年度条例の見直しをすることにより、ある程度達成されると思われる。

5 1次評価

評価結果	理由	
B	現在の支援制度では、今以上の成果は見込まれないと思われる。	
A:現状のまま継続 B:進め方を改善 C:規模・内容を見直し D:抜本的な見直し(廃止・縮小)	改善の方向性(評価B,C,Dの場合には必ず記入すること)	
	平成27年度中に条例・支援制度の見直しを行い、もっと多くの商店が利用できるよう改善し、商店街の活性化に繋げる。	

6 ワーキンググループ評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
B	1次評価のとおり

7 外部評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
B	1次評価のとおり

8 2次評価(1次評価、外部評価を受けての最終評価)

評価結果	意見等
B	1次評価のとおり

平成27年度事務事業評価調書

整理番号	22	枝番	2
評価担当課・係・職名・氏名	営業戦略課		

1 施策体系と事務事業

事務事業名	商店街活性化事業			
総合計画の位置づけ	有 無	基本目標	4	想像力と活力にあふれたまちづくり
		主要施策	3	商業の振興
		基本事業	1	商業の活性化
		実施計画事業	2	個性ある商店街づくり

2 事務事業の概要等

目的(何のために)	魅力ある商店街区づくりのためには、個性・商店街の活力が必要である。そのため、中小企業振興条例に基づき支援しており、活力ある地域経済社会の確立に資する。			
対象(何を又は誰を)	商業者			
手段＝活動(仕事) (どのような方法で)	中小企業振興条例に基づく各種補助制度を実施			
意図(どのような成果を期待しているか)	消費者ニーズに対応した情報・便利・快適性を備えた個性ある魅力的な商店街づくり。			
事業実施主体	名寄市			
事業実施方法	直営	一部委託	全部委託	補助等
事業実施期間	始期	19年度	終期設定	有(終期年度) ・ 無
根拠法令・条例等	名寄市中小企業振興条例			

3 事務事業の現状

(1) 達成状況等の推移

	指標名及び内容	単位		H24	H25	H26	H27見込	目標年度 (年度)
				目標	実績	目標	実績	目標
活動指標	1 商店街環境整備・組織化事業 実際に支援した件数	件	目標	7	7	7	7	
				実績	7	7	7	7
	2 街なかにぎわい・店舗支援・物産振興事業 実際に支援した件数	件	目標		15	15	20	20
				実績	14	15	25	20
	3 人材確保事業 実際に支援した件数	件	目標		5	5	5	5
				実績	2	1	0	5
成果指標	1 商店街環境整備・組織化事業 新たに取り組んだ事業の件数	件	目標		7	7	7	7
				実績	7	7	7	7
	2 街なかにぎわい・店舗支援・物産振興事業 新たに取り組んだ事業の件数	件	目標		15	15	20	20
				実績	14	15	25	20

(2) 事業費の推移

(千円)

区分	H24決算	H25決算	H26決算	H27予算	平成26年度の事業費内訳
事業費	23,932	7,671	6,305	9,404	
国道支出金	6,720	2,759		1,230	商店街環境整備・組織化事業 661
地方債					街なかにぎわい・店舗支援事業 5,363
その他					物産振興事業 281
一般財源	7,132	4,912	6,305	8,174	人材確保事業 0
人件費	1,002	994	994	994	合計 6,305
平均給与額	6,683	6,629	6,629	6,629	
担当職員数	0.15	0.15	0.15	0.15	
総事業費	24,934	8,665	7,299	10,398	
対前年比(%)	—	35	84	142	コストの算出方法
事業コスト					各事業費/支援件数
活動指標1	2,191	675	94	467	
活動指標2	447	151	226	276	
活動指標3	73	53	0	30	

※H26及びH27年度平均給与額は仮の数値です

(3) 事業スタート後の情勢変化やこれまでに取り組んだ改善点

情勢の変化	順調に推移しているが、もっと商業者のニーズに合わせたものにする必要がある。
改善点	指摘事項 有 ( ) 無 平成27年度中に中小企業振興条例の見直しを行い、中小企業者等が利用しやすい制度へと見直しを実施する。

4 事務事業の点検

以下の視点から点検し、(a:高い、b:やや高い、c:やや低い、d:低い)から選択し、その理由等を記入すること。

項目	評価	判定した理由・説明等
妥当性 市が主体的に実施すべきか、社会・市民ニーズに適合しているか？	b	商店街の活性化は、経済の発展や雇用の安定のため必要である。
有効性 目的を達成するための方法として有効か？	b	商店街の維持、発展に対し有効な手段である。
効率性 経費に見合った成果が発揮されているか、コスト削減の余地はないか？	a	事業認定の際、厳正・更正な審査を行っており、コスト削減は難しいと思われる。
公平性 受益者負担は適正か、受益者に偏りがはないか？	a	利用者間で差が生まれないよう周知を徹底しなければならない。
達成度 活動指標、成果指標の達成度は？	b	人材確保について、技能者の人材不足、とりわけ若年技能者が不足していることから、技能者育成にかかる支援制度の見直し・拡充も含めた対策を今後も関係機関や団体と協議・検討し達成できるようにしなければならない。

5 1次評価

評価結果	理由	
B	利用率の高いもの低いものでバラツキがある。	
A:現状のまま継続 B:進め方を改善 C:規模・内容を見直し D:抜本的な見直し(廃止・縮小)	改善の方向性(評価B,C,Dの場合には必ず記入すること)	
	平成27年度中に条例・支援制度の見直しを行い、商店街の活性化に繋げる。	

6 ワーキンググループ評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
B	1次評価のとおり

7 外部評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
B	1次評価のとおり

8 2次評価(1次評価、外部評価を受けての最終評価)

評価結果	意見等
B	1次評価のとおり